

介護保険事業支援計画に記載した、市町村が行う自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組の支援についての目標（令和元年度）に対する自己評価結果

都道府県名： 静岡県

**ア 取組の支援についての自己評価結果**

項目名

1 住民主体の介護予防の推進、地域リハビリテーション（専門職派遣）

目標を設定するに至った現状と課題

住民主体の介護予防を推進していくためには、体操や趣味活動を行ったり、高齢者自らが運営に参加することにより、高齢者の生きがいがづくりや社会参加につなげていく住民主体の「通いの場」が、高齢者が気軽に通える範囲に設置されることが重要であるが、多くの市町で「通いの場」の運営者、介護予防リーダーなど担い手の不足が大きな課題となっているため、ボランティア等の育成により、担い手の確保を図っていく必要がある。

また、リハビリテーション専門職や、歯科衛生士、管理栄養士等の専門職が活動に関与が求められているが、市町によって取組に差がみられる状況にあり、専門職の関与を推進するためには、施設や事業所で勤務するリハビリテーション専門職等が地域におけるリハビリテーション活動に関与しやすい仕組みづくりが必要となる。

取組の実施内容、実績

○市町における住民主体の「通いの場」の設置を支援するため、好事例の情報提供を行う。

<R1 実績>

介護予防事業研修会や市町担当者連絡会等を通じて先進事例を紹介し、設置を促進した。

○介護予防従事者を対象に、運動、口腔ケア、栄養等の理解を深める研修を実施し、専門職の関与を促進する。

<R1 実績>

(1) 介護予防従事者に対する研修会<健康福祉センター主催>

地区	開催日	内 容	対象者
東部 中部 西部	9月17日 10月30日 9月30日	○講義 低栄養の改善予防 講師：管理栄養士 ○講義 摂食・嚥下障害の予防 講師：言語聴覚士 ○事例紹介 ○情報提供 『食べるからつながる』食支援ガイドの紹介 ○グループワーク	市町、地域包括支援センター職員、ケアマネジャー等 232人

○市町、医師会、リハビリテーション専門職団体協議会等が参加する地域包括ケア推進ネットワーク会議リハビリテーション推進部会において、住民主体の「通いの場」などにリハビリテーション専門職が関与するための体制づくりを検討する。

<R1 実績>

(1) 地域包括ケア推進ネットワーク会議地域リハビリテーション推進部会（平成30年6月設置）

地域リハビリテーション推進部会で、地域リハビリテーションに係る医療・介護の連携や市町支援の方策を検討した。

また、推進部会の下に設置しているワーキンググループで、地域リハビリテーションの目指す姿を共有するとともに、県が独自に養成した地域リハビリテーションサポート医や推進員の活動内容など具体的な役割を検討した。

ア 組織：医療関係団体、介護保険事業者、学識経験者等で構成

(参考) 委員一覧（任期：平成30年6月19日から令和2年5月31日まで）

	所 属	役 職	氏 名	備考
1	浜松医科大学医学部附属病院	教授 診療科長	山内 克哉	
2	静岡県医師会	理 事	岡 慎一郎	部会長
3	静岡県訪問看護ステーション協議会	会 長	渡邊 昌子	
4	中伊豆リハビリテーションセンター	在宅支援部長	紅野 利幸	
5	静岡県介護支援専門員協会	会 長	村田 雄二	
6	静岡県ホームヘルパー連絡協議会	監 事	岡田 健一	
7	磐田市竜洋地域包括支援センター	センター長	佐藤 五月	
8	伊豆の国市保健福祉・こども・子育て相談センター	センター長	寺尾 佳余子	
9	静岡市地域包括ケア推進本部	係 長	木下 晴美	
10	静岡県リハビリテーション専門職団体協議会	会 長	和泉 謙二	
11	静岡県リハビリテーション専門職団体協議会	副会長	岡庭 隆門	
12	静岡県リハビリテーション専門職団体協議会	副会長	徳永 治美	

イ 所掌事務

- ・地域リハビリテーションに係る医療、介護、福祉の連携に関すること
- ・地域リハビリテーション関連事業に従事する人材の資質向上等に関すること
- ・地域リハビリテーションに係る先進的な取組事例の収集及び市町への情報発信に関すること
- ・その他地域リハビリテーション関連事業の適切な実施に必要な事項に関すること

ウ 地域リハビリテーション推進部会の実施状況

区 分	内 容
第1回 9月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の地域リハビリテーション推進部会の進め方</li> <li>・地域リハビリテーション推進ワーキンググループの検討結果</li> <li>・地域リハビリテーションの全体像（案）</li> <li>・リハビリ専門職の派遣体制</li> </ul>
第2回 2月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域リハビリテーションの目指す姿</li> <li>・次期市町介護保険事業計画策定に向けた県方針(案)</li> <li>・課題に対する県の取組の方向性</li> <li>・リハビリ専門職の派遣体制</li> </ul>

エ 地域リハビリテーション推進部会ワーキンググループの実施状況

組織：医療関係団体、介護保険事業者等の実務担当者が構成

区 分	内 容
第 1 回 6 月 25 日	・ 地域リハビリテーションサポート医・推進員の活動 ・ リハビリ専門職の派遣体制の仕組み
第 2 回 12 月 26 日	・ 地域リハビリテーションの目指す姿 ・ リハビリ専門職の派遣体制の仕組み

(2) リハビリテーション専門職の派遣窓口の設置

静岡県リハビリテーション専門職団体協議会に市町の地域支援事業に対し、リハビリテーション専門職を派遣する窓口を設置し、派遣調整を行った。

(リハビリテーション専門職の活動実績：1,591回)

自己評価

- ・ 介護予防事業研修会や市町担当者連絡会等で住民主体の介護予防の「通いの場」の設置支援や従事するボランティア育成に関する課題、好事例についての情報交換が進んだ。
- ・ 専門職の派遣については、静岡県リハビリテーション専門職団体協議会に窓口を設置したことで、リハビリテーション専門職とつながりのない市町でも、「通いの場」等へ派遣する専門職が確保しやすくなるなどの効果があった。

※複数項目に分ける場合には、項目ごとに様式を分けて記入する。

イ 管内保険者の自己評価結果の概要

- ・ 管内 35 市町のうち、「通いの場」に関する目標を掲げていた市町は 21 市町、指標の項目は 23 個あり、そのうち 12 個が 80%以上、11 個が 60%以上の達成率となった。
- ・ 「専門職派遣」に関する目標は、10 市町で 10 個の指標があり、そのうち 4 個が 80%以上、3 個が 60%以上の達成率となった。達成率の低い市町は、派遣回数が目標値を大幅に下回るなどの状況。

ウ まとめ（ア及びイから考察した現状・課題と対応策）

- ・ 専門職派遣については、市町の地域支援事業に協力してくれる専門職の人数（県主催の研修修了者のうち同意が取れている専門職）を市町別に集計し、市町に配布している。一部の市町では人数が少なかったり、いなかったりするため、派遣調整窓口の利用につながらないこともあることから、今後、地域リハビリテーション広域支援センターが専門職の派遣調整に取り組むことにより、病院や介護事業所などの理解を得ながら、専門職が市町の事業に協力しやすい仕組みづくりを進めていく。